公益財団法人 日本離島センター

吉見 一之

少数精鋭の日本離島センター

議員視察の最終日、永田町にある全国町村会館にある「日本離島センター」を訪問しました。

日本離島センターは、全国の離島の振興と発展を目指して設立された、離島振興推進の公益財団法人で、同センターが主催する未来の島づくりを語り合う高校生のイベント「アイランダー高校生サミット」には、新島高校の生徒たちも積極的に参加しており、次世代のリーダーを創出しています。

アイランダー高校生サミット

日本全国の離島振興を取りまとめていると聞き緊張しましたが、訪れてみると従業員10名程度のびっくりするぐらい小さな事務所で、とても気さくに対応していただき、日本離島センターの主な業務、新島村が令和9年4月から「特定有人国境離島」に正式追加される見通しのため、そのメリットやデメリット、島内での起業や事業拡大、雇用の創出に対して国の交付金から強力な補助が出ることと、その審査のことなどを詳しくご説明いただきました。

これだけの少人数で日本の総島数約1万4千島、うち有人離島数255島の案件をこなせているのは、単に職員が優秀であるだけではなく、島に対する深い愛情が感じられました。

離島住民のためのワークショップ 島づくり大学

公益財団法人日本離島センターが主催する「島づくり人材養成大学」は、離島の地域活性化や産業振興を担う次世代のリーダーを育成する短期集中型の研修プログラムです。他地域の離島で活動する参加者との交流やフィールドワークを通じて、自らの島を見つめ直し、研修後に地域へ戻ってからも、その学びやつながりが島に良い影響として広がることを目指しているとのことです。

平成4年度の開講以来、全国の島々から受講者が集い、これまで延べ719名の修了生を輩出しています。

平成23年（2011年）には当議会の木村諭史議長も参加しており、近年では令和5年以降、3年連続で新島村から参加者が出ています。

新島村では、現地集合に係る交通費助成についても令和6年から予算化されています。

日本離島センターが島の魅力を広く知ってもらうために製作した島の歌「星なる島よ」

しまのうた「星なる島よ」